

令和2年度第2回旭川市総合戦略検討懇談会 意見及び質問一覧

氏名	議題	意見及び質問	回答
A氏	議題1	<ul style="list-style-type: none"> ●旭川観光コンベンション協会補助金(42,352千円)新規事業内容の詳細を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度拡充内容としては、同補助金のうち2,000千円を学術会議や企業ミーティングの開催支援補助金として活用します。事業内容詳細については現在協会と協議中ではありますが、旭川市内における学術会議や企業ミーティングの開催にあたり、主催者に一定額の助成金を交付するものです。
	議題2	<ul style="list-style-type: none"> ●数字の羅列で文章が構成されていて、要因が全く記載されていない。 ・何故出生数が減少しているのか。 ・何故転出が大幅減少したのか。等 ●北の森づくり専門学院の開校による転入増加は。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口動態に係る詳細要因の把握までは難しい面がありますが、出生数の減少については、少子高齢化と人口減少が進み、総的に子育て世代が減少していることが最も大きな要因と考えております。転出の減少については、20歳代から40歳代前半までの転出減が前年より大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響が進学・就職・人事異動に伴う転勤での転出を抑制しているものと推測されます。新型コロナウイルス感染症の影響が人口動態に及ぼす影響については、引き続き状況を注視する必要があると考えております。 人口動態の増減については、様々な要因が関係していると考えておりますが、出来る限り要因の分析に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響も含めて今後も社会情勢を注視し、引き続き子育て環境の充実や、若者の地元定着などの人口減少に向けた取組を進めてまいります。また、今後、資料の作成に当たっても御意見を参考に要因の分析など内容を検討させていただきます。 ●北の森づくり専門学院への入学者数は、令和2年度が34名、令和3年度(予定者)が40名であるものの出身地や住民票の所在については公表されないため、開校による人口動態への影響は確認出来ておりませんが、開校により地域の活性化や地域産業の発展に繋がると考えられるため、引き続き支援を行ってまいります。
B氏	議題1	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年は、コロナウイルスにより中心市街地の商店会としてはイベントなどの活動が難しく、道路占有・使用許可の申請から許可がおきるまでの期間を考えると中止にしなければならない企画が多くありました。ひと月先の状況がわからない中でも中心市街地活性化につながる企画がすぐ開催できるように、買物公園の使用・占有許可を通年で市が取するようなことはできないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度は新型コロナウイルスの流行拡大により、本市中心市街地である買物公園で行われるイベントが多数中止されてきたところです。 イベントを企画・運営されている皆さまにおかれましては、通年での道路占有許可申請が可能になる等の事務手続の簡素化・簡略化を希望されることについては十分理解できますが、道路占有とは通行の支障にならないか十分検討したうえで許可する必要があり、設置する占有物件・数量・設置場所が具体化されていない段階では、その判断ができないため占有許可をすることは難しいと考えております。 早い段階から道路管理者と協議をすすめておくことで、申請・審査期間を短くすることは可能ですし、中止や延期、占有物件の変更等あれば、取消や数量等変更の受付もいたしますので、まずは連絡いただければと存じます。 なお、警察への道路使用許可申請については、道路占有許可申請に併せて道路管理者に提出していただくことも可能ですが、許可までの日数がよりかかること、添付書類に不備等あった際は、警察の窓口で対応していただく必要があることを御理解ください。

C氏	議題1	<p>●急務として、コロナ禍の中、旭川市街地・繁華街の応援支援。活性化の手助け予算が見当たらない。このままだと観光客が戻っても十分な北海道の魅力ある外食先が無くなるだけ。北海道の観光の原点は自然(見る・音・感じ)食と思う。</p>	<p>●総合戦略における中心市街地の活性化に係る事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止となった食ペマルシェを感染症対策を講じながら実施するとともに、eスポーツを核としたICTパークの運営などにより中心市街地の活性化を図ってまいりたいと思います。</p> <p>また、総合戦略には位置付けられておりませんが、令和3年度当初予算では、新型コロナウイルス感染症の影響により経営が悪化した事業者に対する支援として、中小企業振興資金融資事業費があるほか、事業者への緊急対策としては、子育て世帯等にテイクアウトなどで利用できるフードチケットを配布するなど、追加支援を実施しております。</p> <p>これまでも新型コロナウイルス感染症の緊急対策として、飲食店で活用できるチケット配付など支援を行ってきておりますが、新型コロナウイルス感染症を始めとする社会動向を注視しながら、今後についても必要な支援を随時検討してまいります。</p>
	議題2	<p>●転入の内訳が細かく分析できないのか？ 転勤、施設に入ったのか、学生、生活保護が受けやすいためなのか？ これからの対策の為に必要と思われる。</p>	<p>●人口動態に係る詳細要因の把握までは難しい面がありますが、令和2年の転入の実績値で見ると、前年より10歳代後半の転入が増加していることから、進学や就職による転入が増加したものと考えております。全体としては、転入数の増加より転出数の減少が大きい状況にあり、特に20歳代から40歳代前半までの転出の減少が大きいため、新型コロナウイルス感染症の影響で進学・就職・人事異動に伴う転勤での転出を抑制しているものと推測されます。新型コロナウイルス感染症の影響が人口動態に及ぼす影響については、引き続き状況を注視する必要があると考えております。</p> <p>人口動態については、様々な要因が関係していると考えておりますが、出来る限り要因の分析に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響も含めて今後も社会情勢を注視し、引き続き子育て環境の充実や、若者の地元定着などの人口減少に向けた取組を進めてまいります。また、今後、資料の作成に当たっても御意見を参考に要因の分析など内容を検討させていただきます。</p>
D氏	議題2	<p>●コロナ禍の影響の中で、転出の大幅減、特に若い世代の転出減が目立ち、全体として、人口減が抑制されている。その為、各施策の効果の検証が、難しくなっているように思われます。</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症の拡大は、実績値から人口動態に影響を及ぼしていると考えております。収束は未だ見込めず、その影響も経済活動など多岐に渡っておりますので、各施策に設定しているKPIの進捗状況も確認しながら、施策の効果の把握に努めるとともに、事業構築等に反映してまいりたいと考えております。</p>
E氏	議題2	<p>●資料3の年齢区分別転出入状況について。転入・転出が人数で示されている。年齢区分ごとの人口(人数)に差があると思われるので、割合で示すことも、人口動態を検討するうえで重要だと考えます。</p>	<p>●今後、資料の作成に当たっては、御意見を参考にさせていただき内容について検討させていただきます。</p>